時間の性質

すべての事には時があり、天の下のすべての営みには時がある。（伝道の書 3:1）

モーセ五書

時が経ち、カインは地の産物の中から、主への捧げ物を持ってきた。（創世記 4 章 3 節）

しかし、わたしはサラが来年のこの時期にあなたに産むイサクと契約を結ぶであろう。（創世記 17:21）

主は言われた。「わたしは必ず、命の時が来たらあなたのところに戻って来る。見よ、あなたの妻サラは息子を産むであろう。」サラは主の後ろにある天幕の入り口でこれを聞いていた。さて、アブラハムとサラは年老いて、サラはもはや女の性分を失っていた。そこでサラは心の中で笑って言った。「わたしも年老いて、夫も年老いているのに、どうしてわたしに喜びがあるだろうか。」主はアブラハムに言われた。「なぜサラは笑って、『わたしは年老いているのに、本当に子供を産むことができるだろうか』と言ったのか。主にとって不可能なことがあるだろうか。定められた時が来たら、わたしは命の時が来たらあなたのところに戻って来る。サラは息子を産むであろう。」創世記 18:10-14

サラは身ごもり、神がアブラハムに告げられた定められた時に、アブラハムの老齢になってから息子を産んだ。（創世記 21:2）

そして彼は、夕方、女たちが水を汲みに出かける頃、町の外にある井戸のそばにラクダをひざまずかせた。（創世記 24:11）

そして彼は言った、「見よ、まだ日が昇っている。家畜を集める時ではない。羊に水を飲ませ、行って餌を与えなさい。」創世記 29:7

こうして、わたしの義は、将来、あなたがたの御前にわたしの報酬を請求する時、わたしのために弁明するであろう。山羊の中で斑点やしみのない者、羊の中で茶色でない者は、すべてわたしと共に盗まれた者とみなされるであろう。創世記 30:33

家畜が妊娠した時、私は目を上げて夢を見た。すると、家畜に飛びかかった雄羊たちは、縞模様があり、まだら模様があり、灰色がかった毛色をしていた。（創世記 31:10）

そして、彼女が産みの苦しみを味わっている時、見よ、彼女の胎内には双子がいた。（創世記 38:27）

ヨセフがエジプト人の家と、その所有するすべてのものを管理する監督者とされた時から、主はヨセフのためにエジプト人の家を祝福された。主の祝福は、家の中と畑にあるすべてのものの上に及んだ。（創世記 39:5）

もし私たちがもう少し長居していたら、今頃は二度も戻ってきていただろう。（創世記 43:10）

イスラエルが死ぬ時が近づいた。彼は息子ヨセフを呼び、こう言った。「もし今、私があなたの目に恵みを得たのなら、どうか私の太ももの下に手を置いて、私に優しく誠実に接してください。どうか私をエジプトに葬らないでください。」創世記 47:29

時が経つと、エジプトの王は死んだ。イスラエルの子らは奴隷状態のために嘆き、泣き叫んだ。そして、彼らの叫びは奴隷状態のために神に届いた。（出エジプト記 2:23）

そしてファラオは、この時にも心を頑なにし、民を去らせようとしなかった。（出エジプト記 8:32）

主は定められた時を定めて言われた。「明日、主はこの地でこのことを行う。わたしはこの時、あなたの心とあなたのしもべとあなたの民の上に、わたしのすべての災いを送る。それは、全地にわたしのような者はいないことをあなたが知るためである。見よ、明日この時頃、わたしはエジプトの建国以来今までにないほどの激しい雹を降らせる。」ファラオは人を遣わしてモーセとアロンを呼び寄せ、彼らに言った。「わたしは今回罪を犯しました。主は正しく、わたしとわたしの民は悪人です。」出エジプト記 9:5,14,18,27

将来、あなたの息子があなたに「これは何ですか」と尋ねるときには、彼にこう言いなさい。「主は力強い御手によって、私たちをエジプトから、奴隷の家から連れ出されました。ファラオが私たちをなかなか行かせようとしなかったとき、主はエジプトの地のすべての初子、すなわち人の初子と獣の初子を殺されました。それゆえ、私は胎を開く雄の子をすべて主にささげますが、私の子供たちの初子はすべて贖います。」 出エジプト記 13:14-15

もし彼が再び立ち上がり、杖をついて歩き回るならば、彼を打った者は免責される。ただし、彼は彼の時間の損失を償い、彼を完全に癒やさなければならない。しかし、もしその牛が以前から角で押して人を殺していたことが飼い主に知られ、飼い主がそれを制御せず、男か女を殺したことがあるならば、その牛は石打ちにされ、飼い主も死刑に処せられる。あるいは、もしその牛が以前から角で押して人を殺していたことが知られ、飼い主がそれを制御していなかったならば、飼い主は必ず牛で償わなければならず、死んだ牛は飼い主のものとなる。出エジプト記 21:19,29,36

あなたは種なしパンの祭りを守らなければならない。（あなたがエジプトから出てきたアビブの月の定められた時期に、わたしが命じたとおり、七日間種なしパンを食べなければならない。そして、だれも空手でわたしの前に現れてはならない。）出エジプト記 23:15

あなたは種なしパンの祭りを守らなければならない。アビブの月の時期に、わたしが命じたとおり、七日間種なしパンを食べなければならない。アビブの月にあなたはエジプトから出てきたからである。六日間は働き、七日目には休まなければならない。種まきの時期と収穫の時期には休まなければならない。（出エジプト記 34:18,21）

そして、あなたが洗う衣服、すなわち縦糸、横糸、あるいはその他の皮製品であっても、もし疫病が彼らから去ったならば、それは二度目に洗われ、清められるであろう。レビ記 13:58

もし女が、産褥期を過ぎても長期間出血が続く場合、あるいは産褥期を超えて出血が続く場合は、その出血が続く期間すべてを産褥期とみなし、女は汚れた者となる。レビ記 15:25

あなたは、姉妹を苦しめ、その裸を、生きている間に他の姉妹の傍らで露わにするために、その姉妹を妻として娶ってはならない。レビ記 18:18

レビ人の町々、そして彼らが所有する町々の家々については、レビ人はいつでも買い戻すことができる。そして彼は、彼を売った年からヨベルの年までの期間を、買い取った者と計算しなければならない。彼の売却代金は年数に応じて、すなわち雇い人の期間に応じて、彼と共に支払われる。レビ記 25:32,50

あなたたちの脱穀はぶどうの収穫期まで続き、ぶどうの収穫期は種まきの時期まで続く。あなたたちはパンを十分に食べ、自分たちの土地に安全に住むであろう。レビ記 26:5

その土地が肥沃か痩せているか、木があるかないか、よく調べなさい。勇気を出して、その土地の産物を持って来なさい。ちょうどその頃、ぶどうの初穂の時期であった。（民数記 13:20）

そして彼らはこの地の住民にそれを告げるであろう。主よ、あなたがこの民の中におられ、主よ、あなたが顔を合わせて現れ、あなたの雲が彼らの上に立ち、あなたが昼は雲の柱の中に、夜は火の柱の中に、彼らの前を進んで行かれることを、彼らは聞いているからである。民数記 14:14

私たちの先祖がエジプトに下り、私たちは長い間エジプトに住んでいました。そしてエジプト人は私たちと私たちの先祖を苦しめました。（民数記 20:15）

その時、わたしはあなた方に命じて言った。「主なるあなた方の神は、あなた方にこの地を与えて所有させようとしておられる。あなた方は、兄弟であるイスラエルの子らの前で、戦いにふさわしい者すべてを武装して渡らなければならない。」また、その時、わたしはヨシュアに命じて言った。「あなたの目は、主なるあなた方の神がこの二人の王になさったすべてのことを見た。主は、あなたが通るすべての王国に、同じようになさるであろう。」申命記 3:18,21

その時、主は私に、あなたがたがこれから行って所有する地で、律法と定めを守り行うようにと命じられた。（申命記 4:14）

その時、主は私に言われた。「最初の石板と同じような石板を二枚切り出し、山に登ってわたしのところに来て、木で契約の箱を作りなさい。」その時、主はレビ族を選び分け、主の契約の箱を担がせ、主の前に立って主に仕え、今日まで主の御名によって祝福するようにされた。そして私は、最初の時と同じように、四十日四十夜山にとどまった。その時も主は私の願いを聞き入れ、主はあなたを滅ぼされなかった。申命記 10:1,8,10

あなたが長期間都市を包囲し、それを攻略するために戦うとき、斧を振り下ろしてその都市の木々を破壊してはならない。あなたはそれらの実を食べることができるからである。包囲のためにそれらを切り倒してはならない（野の木は人の命である）。申命記 20:19

歴史

門が閉まる頃、暗くなった頃、男たちは出て行った。彼らがどこへ行ったのか、私は知らない。急いで彼らを追いかけなさい。必ず追いつくだろう。ヨシュア記 2:5

そこでヨシュアは、イスラエルの子らの中から各部族から一人ずつ、あらかじめ用意しておいた十二人を呼び集めた。そして彼らに言った。「主なるあなたの神の契約の箱の前を通り、ヨルダン川の真ん中へ行きなさい。そして、イスラエルの子らの部族の数に応じて、一人一人が肩に石を担ぎなさい。これは、あなたがたの間でしるしとなるためである。将来、あなたがたの子らが父たちに、『これらの石は何を意味するのですか』と尋ねるとき、あなたがたは彼らに答えなさい。『主の契約の箱がヨルダン川を渡ったとき、ヨルダン川の水は止まった。そして、これらの石はイスラエルの子らにとって永遠の記念となる。』」ヨシュア記 4:4-7

その時、主はヨシュアに言われた。「鋭いナイフを作り、イスラエルの子らに二度目の割礼を施しなさい。」ヨシュア記 5:2

祭司たちがラッパを吹き鳴らした七度目の時、ヨシュアは民に向かって言った。「歓声を上げよ。主がこの町をあなた方に与えられたのだから。」ヨシュア記 6 章 16 節

アイの王がこれを見ると、人々は急いで早朝に起き、町の人々はイスラエルと戦うために、王と彼の民全員と共に、定められた時間に平野の前に出て行った。しかし、彼は町の背後に待ち伏せしている敵がいることを知らなかった。ヨシュア記 8:14

こうしてヨシュアは、イスラエルの神、主がイスラエルのために戦われたので、これらの王たちとその領地を一度にすべて征服した。ヨシュア記 10 章 42 節

主はヨシュアに言われた、「彼らを恐れるな。明日この頃、わたしは彼らを皆殺しにしてイスラエルの前に引き渡す。あなたは彼らの馬を刈り、戦車を火で焼き尽くすであろう。」その時、ヨシュアは引き返してハツォルを占領し、その王を剣で打ち殺した。ハツォルはかつてこれらの王国すべての首府であったからである。ヨシュアは長い間、これらの王たちと戦った。その時、ヨシュアはやって来て、ヘブロン、デビル、アナブ、ユダのすべての山地、イスラエルのすべての山地からアナキム人を滅ぼした。ヨシュアは彼らをその町々と共に完全に滅ぼした。ヨシュア記 11:6,10,18,21

それゆえ、私たちは言った。将来、人々が私たちや私たちの子孫にそう言う時、私たちは再びこう言うであろう。「見よ、これが私たちの先祖が造った主の祭壇の型である。これは燔祭のためでも、いけにえのためでもなく、私たちとあなたたちの間の証しである。」ヨシュア記 22:28

主がイスラエルを周囲のすべての敵から解放して安息を与えられた後、長い年月が経ち、ヨシュアは年老いて衰弱した。ヨシュア記 23:1

行って、あなたがたが選んだ神々に叫び求めなさい。苦難の時に、彼らにあなたがたを救い出させなさい。（士師記 10:14）

時が経つにつれ、アンモン人がイスラエルと戦った。イスラエルがヘシュボンとその町々、アロエルとその町々、そしてアルノン川沿岸のすべての町々に三百年間住んでいたのに、なぜその間に彼らを奪還しなかったのか。（士師記 11:4,26）

しかし、妻は彼に言った。「もし主が私たちを殺そうとお望みなら、主は私たちの手から燔祭と穀物の捧げ物を受け取られなかったでしょうし、これらのことをすべて私たちに示されたり、今この時にこのようなことを私たちに告げられたりもされなかったでしょう。」士師記 13:23

しかし、父と母は、主がペリシテ人に対する機会をうかがっておられたことを知らなかった。当時、ペリシテ人はイスラエルを支配していたからである。（士師記 14:4）

こうして、ハンナが身ごもって時が来たとき、彼女は男の子を産み、その子をサムエルと名付けた。「わたしは主にお願いしたから」と言った。サムエル記上 1:20

主は三度目にサムエルを召された。サムエルは立ち上がり、エリのところへ行き、「はい、ここにおります。お呼びになりましたので」と言った。エリは主がその子を召されたことを悟った。サムエル記上 3:8

明日この時間頃、ベニヤミンの地から一人の男をあなたのもとに遣わす。あなたは彼に油を注ぎ、わたしの民イスラエルの指導者とせよ。彼にわたしの民をペリシテ人の手から救い出させよ。わたしはわたしの民を調べた。彼らの叫びがわたしに届いたからである。サムエル記上 9:16

そして彼らはやって来た使者たちに言った。「ヤベシュ・ギルアデの人々にこう言いなさい。『明日、太陽が暑くなる頃には、助けが来るだろう。』」使者たちはやって来て、ヤベシュの人々にそれを告げた。彼らは喜んだ。サムエル記上 11:9

ダビデがヘブロンでユダの王であった期間は、七年六ヶ月であった。サムエル記下 2:11

また、昔、サウルが私たちの王であったとき、あなたはイスラエルを率いて出陣し、また帰還させた者でした。主はあなたに、「あなたはわたしの民イスラエルを養い、イスラエルの指導者となるであろう」と言われました。（サムエル記下 5:2）

わたしはイスラエルの子らをエジプトから連れ出して以来、今日に至るまで、いかなる家にも住んだことがなく、幕屋と天幕の中を歩んできた。わたしがイスラエルの民の上に裁き人を置き、あなたをすべての敵から解放して安息させた時から、主はあなたに家を建てると告げられる。サムエル記下 7:6

年が過ぎ、王たちが戦いに出陣する頃、ダビデはヨアブとその家臣たち、そして全イスラエルを遣わした。彼らはアンモン人を滅ぼし、ラバを包囲した。しかしダビデはエルサレムにとどまっていた。サムエル記下 11:1

そこでアブサロムはヨアブを呼び寄せ、王のもとへ遣わすように命じたが、ヨアブは来ようとしなかった。二度目に再び使者を送ったが、やはり来ようとしなかった。サムエル記下 14:29

フシャイはアブサロムに言った、「アヒトフェルが与えた助言は、今の時代にはふさわしくありません。」 サムエル記下 17:7

そこでアマサはユダの人々を集めるために出かけたが、彼が定めた期限よりも長く滞在した。サムエル記下 20:5

すると彼女は言った。「昔、人々はこう言っていました。『彼らは必ずアベルに助言を求めるだろう』と。こうして彼らはこの件を終えたのです。」 サムエル記下 20:18

ダビデが従えた勇士たちの名は次のとおりである。タクモニ人は、隊長たちの長として座に着いていた。エズニ人アディノもその一人で、彼は槍を振り上げて八百人を一度に討ち取った。三十人の長のうち三人が下って行き、収穫の時期にアドラムの洞窟でダビデのもとに来た。ペリシテ人の軍勢はレファイムの谷に陣を張っていた。勇士カブツェエルの息子で、多くの功績を残したエホヤダの子ベナヤは、モアブ人のライオンのような男二人を討ち取った。また、彼は下って行き、雪の降る時期に穴の中でライオンを討ち取った。サムエル記下 23:8,13,20

そこで主は朝から定められた時までイスラエルに疫病を送られた。ダンからベエルシェバに至るまでの民のうち、七万人が死んだ。サムエル記下 24:15

そして、彼の父は一度たりとも彼を責めることなく、「なぜそのようなことをしたのか」と尋ねた。彼もまた非常に立派な人であった。そして、彼の母はアブサロムの後に彼を産んだ。列王記上 1:6

王は祭司アビアタルに言った。「アナトテへ、自分の畑へ帰りなさい。あなたは死刑に値する。しかし、今はあなたを死刑にしない。なぜなら、あなたは私の父ダビデの前で主なる神の契約の箱を担ぎ、また、私の父が苦しんだすべてのことにあなたも苦しんだからである。」 列王記上 2:26

その時、ソロモンは祭りを催し、全イスラエルの民、すなわち大いなる会衆が、ハマテの入り口からエジプトの川に至るまで、主なる我らの神の前で七日間、七日間、すなわち十四日間、ソロモンと共に祭りを催した。列王記上 8:65

主はギベオンでソロモンに現れたように、二度目にソロモンに現れた。列王記上 9:2

夕べのいけにえをささげる時が来たとき、預言者エリヤが近づいて言った。「アブラハム、イサク、イスラエルの神、主よ。今日、あなたがイスラエルの神であり、私があなたのしもべであり、私がこれらすべてのことをあなたの言葉によって行ったことを、皆に知らしめてください。」列王記上 18:36

七度目に、彼は言った。「見よ、海から人の手のひらほどの小さな雲が立ち昇る。」そして彼は言った。「上って行って、アハブに言いなさい。『戦車を用意して、雨に邪魔されないように下って来なさい。』」列王記上 18:44

すると主の使いが再び来て彼に触れ、「起き上がって食べなさい。旅はあなたにとってあまりにも長すぎるからだ」と言った。列王記上 19:7

そしてエリシャは言った、「この時期、すなわち妊娠の時期が来れば、あなたは男の子を身ごもるでしょう。」すると女は言った、「いいえ、わが主よ、神の人よ、あなたのしもべに嘘をつかないでください。」すると女は身ごもり、エリシャが言ったとおり、妊娠の時期が来れば、男の子を産んだ。列王記下 4:16-17

すると彼は彼に言った、「あの人が戦車から降りてあなたを迎えに来た時、私の心はあなたと共にあったのではないか。今、金銭や衣服、オリーブ畑、ぶどう畑、羊、牛、男奴隷、女奴隷を受け取る時なのか。」 列王記下 5:26

するとエリシャは言った。「主の言葉を聞きなさい。主はこう仰せられる。明日のこの頃、サマリアの門で、上等の小麦粉一升が一シェケルで、大麦二升が一シェケルで売られるであろう。」 列王記下 7:1

昔、エレアザルの子ピネハスが彼らを治めており、主は彼とともにおられた。歴代誌上 9:20

また、昔、サウルが王であった時にも、あなたはイスラエルを導き出し、連れ戻した者であった。そして、あなたの神、主はあなたに言われた。「あなたはわたしの民イスラエルを養い、わたしの民イスラエルを治める者となるであろう。」歴代誌上 11:2

ダビデが率いていた勇士たちの数は次のとおりである。ハクモニ人ヤショベアムは、隊長の長であった。彼は槍を振り上げ、一度に三百人を討ち取った。歴代誌上 11:11

その時、ダビデはエブス人オルナンの脱穀場で主が自分に答えてくださったのを見て、そこでいけにえをささげた。歴代誌上 21:28

そして時が経ち、二年後、彼は病気のために腸が抜け落ち、重い病で死んだ。彼の民は、彼の先祖たちのように彼のために火葬を行わなかった。歴代誌下 21:19

さて、レビ人たちが王の官邸にその箱を運び入れたとき、中に多額の金が入っているのを見て、王の書記官と大祭司の役人が来て箱の中身を空にし、それを自分の所へ運び戻した。彼らはこのようにして毎日金を集め、莫大な富を得た。歴代誌下 24:11

アマツヤが主に従うことをやめた後、エルサレムで彼に対する陰謀が企てられた。彼はラキシュに逃げたが、彼らはラキシュに人を遣わして彼を追って行き、そこで彼を殺した。歴代誌下 25:27

そして、苦難の時に、彼はさらに主に対して罪を犯した。これがアハズ王である。歴代誌下 28:22

王は私に言った（王妃も傍らに座っていた）。「あなたの旅はどれくらいかかるのか。いつ帰ってくるのか。」そこで王は私を遣わすことをよしとされ、私は王に帰ってくる日時を告げた。ネヘミヤ記 2:6

それゆえ、あなたは彼らを敵の手に渡して苦しめられました。しかし、彼らが苦難の時にあなたに叫び求めたとき、あなたは天から彼らの声を聞き、あなたの豊かな慈しみによって、彼らを敵の手から救い出す救い主を与えられました。ネヘミヤ記 9:27

もしあなたがこの時、全く沈黙を守るならば、ユダヤ人には別の所から解放と救いがもたらされるであろう。しかし、あなたとあなたの父の家は滅びるであろう。あなたがこのような時のために王国に来たのかもしれないことを、誰が知っているだろうか。エステル記 4:14

詩

地上にいる人には定められた時があるのではないか。彼の日々は、雇い人の日々のようではないか。（ヨブ記 7:1）

人が死んだら、再び生き返るだろうか。わたしは定められた時のすべての日々を待ち、わたしの変革が来るまで待つ。ヨブ記 14:14

あなたは岩山の野山羊が子を産む時を知っているか。雌山羊が子を産む時を数えることができるか。彼らが満ちる月を数えることができるか。彼らが子を産む時を知っているか。ヨブ記 39:1-2

あなたは私の心に喜びを与えてくださった。それは、彼らの穀物とぶどう酒が豊かに実った時よりも大きな喜びである。詩篇 4:7

主は虐げられた者の避難所、苦難の時の避難所となる。詩篇 9:9

主の言葉は清い言葉である。土の炉で精錬され、七度も清められた銀のようだ。詩篇 12:6

あなたは怒りの時に彼らを燃え盛る炉のようにされる。主は怒りをもって彼らを飲み込み、火は彼らを焼き尽くされる。詩篇 21:9

苦難の時、主はわたしをその幕屋に隠し、その聖所の奥深くにわたしを隠し、岩の上にわたしを立ててくださる。詩篇 27:5

私の時はあなたの御手の中にあります。私の敵の手から、私を迫害する者たちの手から、私を救い出してください。詩篇 31:15

敬虔な者は皆、あなたが見いだされる時にあなたに祈るであろう。大水の洪水の中にあっても、彼らはあなたに近づくことはない。詩篇 32:6

（ダビデの詩。彼がアビメレクの前で態度を変え、追い払われたとき。）わたしは常に主をほめたたえ、わたしの口には絶えず主への賛美がある。詩篇 34:1

彼らは災いの時にも恥じることはなく、飢饉の時にも満ち足りるであろう。しかし、義人の救いは主による。主は苦難の時の彼らの力である。詩篇 37:19,39

（指揮者へ、ダビデの詩）貧しい者を顧みる者は幸いである。主は苦難の時に彼を救い出される。詩篇 41:1

神よ、私たちは耳で聞きました。私たちの先祖は、あなたが昔の時代に、どのような御業をなさったかを私たちに語り聞かせました。詩篇 44:1

恐れを感じる時、私はあなたに信頼します。詩篇 56:3

常に神に信頼せよ。民よ、神の前に心を注ぎ出せ。神は私たちの避難所である。セラ。詩篇 62:8

しかし、主よ、私の祈りはあなたに、恵みの時に捧げられます。神よ、あなたの豊かな慈しみによって、あなたの救いの真実によって、私の祈りを聞き入れてください。詩篇 69:13

老齢の時にも私を見捨てないでください。力が衰える時にも私を見放さないでください。詩篇 71:9

しかし、主は憐れみに満ちて、彼らの罪を赦し、彼らを滅ぼさなかった。まことに、主は幾度となく怒りを鎮め、その憤りを全て表さなかった。詩篇 78:38

主を憎む者たちは主に服従すべきであった。しかし、彼らの時代は永遠に続くはずであった。詩篇 81:15

私の命がどれほど短いかを覚えていてください。なぜあなたはすべての人をむなしく造られたのですか。詩篇 89:47

あなたは立ち上がり、シオンを憐れむであろう。彼女に恵みを与える時、定められた時が来たからである。詩篇 102:13

主は彼らの前に一人の人を遣わされた。それは、奴隷として売られたヨセフであった。彼らはヨセフの足を鎖で縛り、鉄の鎖で縛り付けた。しかし、主の言葉が来るまで、彼はそこに留まった。主の言葉が彼を試した。王は人を遣わして彼を解放し、民の支配者も彼を自由にした。詩篇 105:17-20

正義を守る者、常に義を行う者は幸いである。詩篇 106:3

主は幾度となく彼らを救い出されたが、彼らはその策略で主を怒らせ、その罪のために打ちのめされた。それでも主は彼らの苦しみを顧み、彼らの叫びを聞かれた。（詩篇 106:43-44）

今からとこしえまで、主の御名がほめたたえられますように。詩篇 113:2

しかし、今から永遠に主をほめたたえよう。主を賛美せよ。詩篇 115:18

私の魂は、常にあなたの裁きを待ち望んでおり、その思いは張り裂けそうです。詩篇 119 篇 20 節

わたしは一日に七度、あなたの正しい裁きゆえにあなたを賛美します。詩篇 119 篇 64 節

主よ、今こそあなたが働かれる時です。彼らはあなたの律法を無効にしたからです。詩篇 119:126

主は、今からとこしえまで、あなたの出入りを守られる。詩篇 121:8

（昇りの歌）イスラエルは今こう言う。「若い頃から幾度となく彼らは私を苦しめてきた。しかし、彼らは私に打ち勝つことはできなかった。」詩篇 129:1-2

友は常に愛し、兄弟は苦難のために生まれる。箴言 17:17

正しい人は七度倒れても立ち上がる。しかし、悪人は災難に陥る。箴言 24:16

収穫期の雪の冷たさのように、忠実な使者は遣わした者にとって安らぎを与えてくれる。彼は主人の心を慰めるからである。苦難の時に不誠実な者に頼ることは、折れた歯や脱臼した足のようなものだ。箴言 25:13,19

「見よ、これは新しい」と言えるようなものがあるだろうか。それはすでに昔から存在し、私たちの前にあったものだ。（伝道の書 1:10）

天の下のすべての事には時があり、すべての目的には時がある。生まれる時、死ぬ時。植える時、植えたものを引き抜く時。殺す時、癒す時。壊す時、建てる時。泣く時、笑う時。嘆く時、踊る時。石を投げ捨てる時、石を集める時。抱き合う時、抱き合うのを控える時。得る時、失う時。保つ時、捨てる時。裂く時、縫い合わせる時。沈黙する時、語る時。愛する時、憎む時。戦いの時、平和の時。働く者は、その労苦によって何を得るのか。私は、神が人の子らに与えた労苦を見た。神は時宜を得てすべてのものを美しく造られた。また、人の心に世界を置いておられるので、人は初めから終わりまで、神のなさる業を見出すことはできない。私は知っている。人が喜び、自分の人生で善を行うこと以外に、それらに良いことは何もないことを。また、すべての人が食べたり飲んだりして、自分の労苦の成果を楽しむことは、神からの賜物である。私は知っている。神がなさることはすべて永遠に続く。それに付け加えることも、そこから取り去ることもできない。そして、神がなさるのは、人が神の御前で畏れ敬うためである。かつてあったことは今であり、これからあることは既にあった。そして、神は過ぎ去ったことを求められる。また、私は太陽の下で裁きの場所を見た。そこには悪があり、義の場所を見た。そこには不義があった。私は心の中で言った。「神は義人と悪人を裁かれる。すべての目的とすべての業には時がある。」伝道の書 3:1-17

あまりに悪事を働いてはならない。愚か者になってはならない。なぜあなたは時が来る前に死ぬのか。（伝道の書 7:17）

戒めを守る者は災いを経験することはない。賢い人の心は時と裁きを見分ける。すべての目的には時と裁きがあるから、人の苦しみは大きい。人は何が起こるかを知らない。いつそれが起こるかを誰が告げられるだろうか。霊を支配して霊を留める力を持つ者はいない。死の日にも力を持たない。その戦いには免罪符はなく、悪はそれに身を委ねた者を救い出すことはできない。私はこれらすべてを見て、太陽の下で行われるすべての仕事に心を注いだ。ある人が他の人を支配して、その人に害を与える時がある。伝道の書 8:5-9

たとえ罪人が百回悪事を働いても、その寿命が長くても、神を畏れる者、神の御前に畏れる者には幸いがあることを、私は確かに知っている。伝道の書 8:12

私は戻って太陽の下で見た。競走は速い者に、戦いは強い者に、パンは賢い者に、富は理解力のある者に、恩恵は熟練した者に与えられるとは限らない。すべては時と偶然によって決まるのだ。人は自分の時を知らない。悪しき網にかかる魚のように、罠にかかる鳥のように、人の子らは突然の災いの時に罠にかかる。伝道の書 9:11-12

地上には花が咲き、鳥のさえずりの時が来た。わが地には山羊の鳴き声が聞こえる。（雅歌 2:12）

預言

主よ、私たちに恵みをお与えください。私たちはあなたを待ち望んでいます。毎朝、彼らの御腕となってください。苦難の時にも、私たちの救いとなってください。イザヤ書 33 章 2 節

知恵と知識はあなたの時代の安定であり、救いの力となる。主を畏れることは彼の宝である。イザヤ書 33 章 6 節

恐れるな、おびえるな。わたしはあの時からあなたに告げ、告げたではないか。あなたがたはわたしの証人だ。わたしのほかに神がいるだろうか。いや、神はいない。わたしは誰をも知らない。イザヤ書 44 章 8 節

告げよ、そして彼らを近くに引き寄せよ。彼らに共に相談させよ。誰が昔からこれを告げたのか。誰が昔からこれを語ったのか。わたし、主ではないか。わたしのほかに神はいない。正義の神、救い主。わたしのほかに神はいない。イザヤ書 45:21

初めから終わりを告げ、昔からまだ成し遂げられていないことを告げ、こう言う。「わたしの計画は必ず成就し、わたしの望むことはすべて成し遂げる。」イザヤ書 46 章 10 節

彼らは木に向かって「あなたは私の父だ」と言い、石に向かって「あなたは私を産み落とした」と言う。彼らは私に背を向け、顔を向けなかった。しかし、苦難の時には、「立ち上がって、私たちを救ってください」と言うだろう。しかし、あなたが自分のために造っ

たあなたの神々はどこにいるのか。苦難の時にあなたを救うことができるなら、立ち上がってみよ。ユダよ、あなたの神々はあなたの町の数に比例するのだ。エレミヤ書 2:27-28

その時、彼らはエルサレムを主の御座と呼び、すべての国々は主の御名のためにエルサレムに集まるであろう。彼らはもはや、自分の悪しき心の思いに従って歩むことはないであろう。エレミヤ書 3:17

彼らは忌まわしい行いをした時、恥じ入らなかっただろうか。いや、彼らは少しも恥じ入らず、顔を赤らめることもなかった。それゆえ、彼らは倒れる者たちの中に倒れるであろう。わたしが彼らを罰する時、彼らは打ち倒されるであろう、と主は言われる。エレミヤ書 6:15

まことに、天のコウノトリは定められた時を知っており、山鳩と鶴と燕は来る時を知っている。しかし、わたしの民は主の裁きを知らない。彼らは忌まわしい行いをした時、恥じただろうか。いや、彼らは少しも恥じず、顔を赤らめることもなかった。それゆえ、彼らは倒れる者たちの中に倒れるであろう。彼らが裁かれる時、彼らは打ち倒されるであろう、と主は言われる。私たちは平和を待ったが、良いことは起こらなかった。健康の時を待ったが、見よ、災いが来た。エレミヤ書 8:7,12,15

主は言われた。「まことに、あなたの残りの民は幸いである。まことに、わたしは災いの時、苦難の時に、敵にあなたに善意を抱かせるであろう。」エレミヤ書 15 章 11 節

その日、その時、わたしはダビデのために義の若枝を生やす。彼はその地で正義と公正を行うであろう。エレミヤ書 33:15

その日、その時、主は言われる。イスラエルの子らは、ユダの子らと共に来て、泣きながら、行って、彼らの神、主を求めるであろう。エレミヤ書 50:4

見よ、わたしはあなたに敵対する、最も高慢な者よ、と万軍の主なる神は言われる。あなたの日が来た。わたしがあなたを罰する時が来たのだ。エレミヤ書 50:31

バビロンの中から逃げ出し、各自自分の命を救い出せ。彼女の罪のために滅びてはならない。これは主の報復の時であり、主は彼女に報復されるであろう。エレミヤ書 51 章 6 節

なぜあなたは私たちを永遠に忘れ、長い間私たちを見捨てられたのですか。哀歌 5:20

あなたが食べる食物は、重さで測り、一日二十シェケルとする。あなたはそれを時々食べる。また、水も量りで測り、六分の一ヒンを飲む。あなたはそれを時々飲む。エゼキエル書 4:10-11

地に住む者よ、朝が来た。時が来た。苦難の日が近づいた。山々の轟きはもう聞こえない。時が来た。その日が近づいた。買う者は喜ぶな、売る者は嘆くな。そのすべての群衆に怒りが下るからだ。エゼキエル書 7:7、12

わたしがあなたのそばを通り過ぎ、あなたを見たとき、見よ、あなたの時は愛の時であった。わたしはあなたの上に裾を広げ、あなたの裸を覆った。まことに、わたしはあなたに

誓い、あなたと契約を結んだ、と主なる神は言われる。そしてあなたはわたしのものとなった。エゼキエル書 16:8

その日は近い。主の日が近い。曇りの日、異邦人の時となる。エゼキエル書 30 章 3 節

主なる神は言われる、「ゴグがイスラエルの地に攻め寄せる時、わたしの怒りがわたしの顔に現れるであろう。」 エゼキエル書 38:18

王は答えて言った。「あなたがたが時間を稼ごうとしているのはよく分かっている。なぜなら、あなたがたはそれが私から消え去ったのを見ているからだ。しかし、もしあなたがたが夢を私に知らせないなら、あなたがたにはただ一つの命令がある。あなたがたは、時が変わるまで、私の前で偽りの言葉と悪意のある言葉を語ろうとしているからだ。だから、夢を私に話せ。そうすれば、あなたがたがその解釈を私に示せるかどうか分かるだろう。」ダニエル書 2:8-9

それからダニエルは王のところへ行き、時間をください、そして王にその解釈をお見せしますと願い出た。ダニエル書 2 章 16 節

彼は時と季節を変え、王を廃し、王を立てる。彼は知恵ある者に知恵を与え、悟りある者に知識を与える。（ダニエル書 2 章 21 節）

そして、その日の終わりに、私ネブカドネザルは天を見上げ、私の理解力が回復したので、私は至高者を祝福し、永遠に生きる方を賛美し、尊んだ。その支配は永遠の支配であり、その王国は代々に及ぶ。地上のすべての住民は無に等しいと見なされ、天の軍勢においても、地上の住民においても、主は御心のままに行われる。誰も主の手を止めたり、「あなたは何をしているのか」と主に言うことはできない。その時、私の理性が回復し、私の王国の栄光のために、私の名誉と輝きが私に戻ってきた。私の顧問たちと私の主君たちが私に尋ね、私は王国に堅く立ち、優れた威厳が私に加わった。今、私ネブカドネザルは天の王を賛美し、称え、敬う。その御業はすべて真実であり、その道は正義である。高慢に歩む者を、主は低くすることができる。ダニエル書 4:34-37

ダニエルは、その文書に署名があったことを知ると、家に入り、エルサレムの方角にある自分の部屋の窓を開けて、以前と同じように、一日に三度ひざまずき、祈り、神に感謝をささげた。ダニエル書 6 章 10 節

それゆえ、知って理解せよ。エルサレムを再建せよという命令が出てから、メシアなる君主が現れるまで、七週間と六十二週間である。街路も城壁も再建されるが、それは苦難の時代である。ダニエル書 9:25

正義をもって種を蒔き、慈しみをもって刈り取りなさい。休耕地を耕しなさい。主を求め、主が来て、あなた方に正義の雨を降らせる時が来たのだ。ホセア書 10:12

見よ、その日、その時、わたしがユダとエルサレムの捕囚を連れ戻すとき、わたしはまたすべての国々を集め、彼らをヨシャファトの谷に連れて行き、そこでわたしの民、わたし

の嗣業であるイスラエルのために彼らと争うであろう。彼らはイスラエルを諸国の民の中に散らし、わたしの土地を分け与えたのだから。ヨエル書 3:1-2

わたしはあなたがたの数々の背きと甚だしい罪を知っている。彼らは正しい者を苦しめ、賄賂を取り、門で貧しい者をその権利から遠ざける。それゆえ、賢い者はその時沈黙を守るべきである。それは悪の時だからである。善を求め、悪を求めてはならない。そうすれば、あなたがたは生きることができる。あなたがたが言ったとおり、万軍の神、主はあなたがたと共におられるであろう。アモス書 5:12-14

そして主の言葉が再びヨナに臨み、こう言われた。「立ち上がって、大都市ニネベに行き、わたしが命じるとおりにそこで説教せよ。」ヨナ書 3 章 1-2 節

それゆえ、主はこう仰せられる。「見よ、わたしはこの一族に対して災いを企てる。あなたがたはそこから首を抜くことも、高慢に振る舞うこともできない。今は災いの時だからである。」ミカ書 2 章 3 節

その時、彼らは主に向かって叫ぶであろうが、主は彼らの声を聞かないであろう。彼らが悪行を重ねたゆえに、主はその時、彼らから顔を隠されるであろう。ミカ書 3 章 4 節

あなたがたは主に対して何を企てているのか。主は完全に滅ぼされる。苦難は二度と起こらない。ナホム書 1 章 9 節

この幻は定められた時のためであり、終わりには必ず成就し、偽りではない。たとえ遅れても、それを待て。必ず来る、遅れることはない。ハバクク書 2:3

その時、わたしは灯火をもってエルサレムをくまなく探し、澱の上に住み着いている者たち、すなわち心の中で「主は善も悪も行わない」と言っている者たちを罰する。ゼパニヤ書 1:12

見よ、その時、わたしはあなたを苦しめる者すべてを滅ぼし、足の不自由な者を救い、追放された者を集める。そして、彼らが辱めを受けたすべての地で、彼らに称賛と名声を与える。その時、わたしはあなたたちを連れ戻し、あなたたちを集める。わたしはあなたたちの捕囚をあなたたちの目の前で元に戻し、地上のすべての民の間であなたたちを名声と称賛の的とする、と主は言われる。ゼパニヤ書 3:19-20

万軍の主はこう言われる。「この民は言う。『主の家を建てる時はまだ来ていない』と。すると、主は預言者ハガイを通してこう言われた。『あなたがたは、天井のある家に住み、この家が荒れ果てたままでいる時なのか。』それゆえ、万軍の主はこう言われる。『自分の行いをよく考えよ。』」ハガイ書 1 章 2-4 節

わたしはあなたがたのために食い荒らす者を叱責し、彼はあなたがたの地の産物を滅ぼすことはない。また、あなたがたのぶどうの木は、畑で実を落とすこともない、と万軍の主は言われる。マラキ書 3:11

福音書と使徒言行録

その時からイエスは宣教を始め、「悔い改めなさい。天の御国は近づいた」と言われた。（マタイによる福音書 4:17）

あなたがたは、「殺してはならない。殺す者は裁きを受ける」と昔の人々に言われたのを聞いている。しかし、わたしはあなたがたに言う。理由もなく兄弟に腹を立てる者は裁きを受ける。兄弟に「愚か者」と言う者は議会に引き渡され、「馬鹿者」と言う者は地獄の火に投げ込まれる。だから、祭壇に供え物をささげようとして、兄弟があなたに対して何か恨みを抱いていることを思い出したなら、供え物を祭壇の前に置いて、まず兄弟と和解しなさい。それから戻って来て供え物をささげなさい。敵と道中を共にしている間に、速やかに和解しなさい。さもないと、敵があなたを裁判官に引き渡し、裁判官があなたを役人に引き渡し、あなたが牢獄に入れられることになる。まことにあなたに告げます。あなたは最後の 1 ペニーまで払い終えるまでは、決してそこから出ることはできません。あなたがたは、「姦淫をしてはならない」と昔の人々に言われたのを聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います。女を見て情欲を抱く者は、すでに心の中で姦淫を犯したのです。もしあなたの右の目があなたをつまずかせるなら、それをえぐり出して捨てなさい。体の一部が滅びる方が、体全体が地獄に投げ込まれるよりは、あなたにとって益になるからです。もしあなたの右の手があなたをつまずかせるなら、それを切り落として捨てなさい。体の一部が滅びる方が、体全体が地獄に投げ込まれるよりは、あなたにとって益になるからです。「妻を離縁する者は、離縁状を与えよ」とある。しかし、わたしはあなたがたに言う。姦淫以外の理由で妻を離縁する者は、妻に姦淫を犯させることになる。また、離縁された女と結婚する者は、姦淫を犯すことになる。また、あなたがたは、昔の人々が「偽りの誓いを立ててはならない。主に対して誓ったことは必ず守らなければならない」と言ったのを聞いている。しかし、わたしはあなたがたに言う。決して誓ってはならない。天にかけても誓ってはならない。天は神の御座だからである。地にかけても誓ってはならない。地は神の足台だからである。エルサレムにかけても誓ってはならない。エルサレムは偉大な王の都だからである。自分の頭にかけても誓ってはならない。あなたは自分の髪の毛一本を白くも黒くもできないからである。あなたがたの言葉は、「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」にしなさい。それ以上のことは悪から出ている。「目には目を、歯には歯を」と言われているのを聞いている。しかし、わたしはあなたがたに言う。悪に抵抗してはならない。もしだれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬も向けなさい。もしだれかがあなたを訴えて上着を奪おうとするなら、外套も与えなさい。もしだれかがあなたに一マイル行くことを強いるなら、二マイル行きなさい。求める者には与え、借りようとする者からは顔を背けてはならない。「隣人を愛し、敵を憎め」と言われているのを聞いている。しかし、わたしはあなたがたに言う。敵を愛し、あなたがたを呪う者を祝福し、あなたがたを憎む者に善を行い、あなたがたを侮辱し迫害する者のために祈りなさい。あなたがたが天におられる父の子となるためです。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからです。もしあなたがたが自分を愛してくれる人を愛するだけなら、どんな報いがあるでしょうか。徴税人も同じことをしているではありませんか。また、兄弟たちにだけ挨拶をするなら、他の人々と比べて何が優れているでしょうか。徴税人も同じことをしているではありませんか。ですから、あなたがたの天の父が完全であるように、あなたがたも完全でありなさい。マタイによる福音書 5:21-48

そして朝になれば、今日は荒れた天気になるだろう。空は赤く曇っているからだ。偽善者たちよ、あなたがたは空の様子を見分けることができるのに、時代のしるしを見分けられないのか。マタイによる福音書 16:3

そのときペトロがイエスのもとに来て言った。「主よ、兄弟がわたしに罪を犯した場合、何度まで赦すべきでしょうか。七度まででしょうか。」イエスは彼に言われた。「わたしはあなたに言う。七度までではなく、七十七度までだ。」マタイによる福音書 18:21-22

そしてイエスは言われた。「町へ行って、ある人にこう言いなさい。『先生はこう言われます。「わたしの時が近づきました。わたしは弟子たちと共に、あなたの家で過越の祭りを祝います。」』」マタイによる福音書 26:18

そして、「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」と言われた。（マルコ 1:15）

するとペトロはイエスに言った。「ご覧ください。私たちはすべてを捨てて、あなたに従いました。」イエスは答えて言われた。「まことに、あなたがたに言います。わたしのため、また福音のために、家、兄弟、姉妹、父、母、妻、子、あるいは土地を捨てた者は、今この世で、家、兄弟、姉妹、母、子、土地を百倍受け、迫害を受けますが、来世では永遠の命を得ます。しかし、多くの先頭の者が最後になり、最後の者が先頭になります。」マルコによる福音書 10:28-31

その日には、神が創造された天地創造の初めから今までにないような、また今後もないような苦難があるでしょう。よく注意して、目を覚まして祈りなさい。いつその時が来るか、あなたがたにはわからないからです。（マルコ 13:19,33）

自分自身に気をつけなさい。もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯したなら、彼を叱責しなさい。そして、もし彼が悔い改めるなら、彼を赦しなさい。もし彼が一日七回あなたに対して罪を犯し、一日七回あなたのもとに戻って来て、「悔い改めます」と言うなら、あなたは彼を赦さなければならない。ルカによる福音書 17:3-4

するとペトロは言った。「ご覧ください。私たちはすべてを捨ててあなたに従いました。」イエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。神の国のために、家、両親、兄弟、妻、子どもを捨てた者は、この世で何倍もの報いを受け、来世では永遠の命を受けるでしょう。」それからイエスは十二弟子を連れて来て言われた。「さあ、私たちはエルサレムへ上って行きます。人の子について預言者たちが書いたことはすべて成就するでしょう。」ルカによる福音書 18:28-31

そしてイエスは言われた。「だまされないように気をつけなさい。わたしの名によって多くの者が現れ、『わたしがキリストだ』と言い、時が近づいたと言うだろう。だから、彼らに従ってはならない。」ルカによる福音書 21:8

彼らは剣の刃に倒れ、すべての国々に捕虜として連れて行かれるであろう。そして、異邦人の時が満ちるまで、エルサレムは異邦人によって踏みにじられるであろう。（ルカによる福音書 21:24）

イエスは彼に言われた。「フィリポよ、わたしはこんなに長い間あなたがたと一緒にいたのに、あなたはわたしを知らないのか。わたしを見た者は父を見たのだ。それなのに、どうして『父を見せてください』と言うのか。」ヨハネによる福音書 14:9

これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがつまずかないためです。彼らはあなたがたを会堂から追放するでしょう。まことに、あなたがたを殺す者は誰でも、自分が神に仕えていると考える時が来るでしょう。彼らがこれらのことをあなたがたにするのは、彼らが父もわたしも知らないからです。しかし、これらのことをあなたがたに話したのは、時が来たときに、わたしがあなたがたに話したことを思い出すためです。そして、わたしは初めにこれらのことをあなたがたに話さなかったのは、わたしがあなたがたと共にいたからです。ヨハネによる福音書 16:1-4

これらのことを、わたしはたとえ話であなたがたに話した。しかし、やがて、わたしはもはやたとえ話で話すのではなく、父についてあなたがたにはっきりと示すであろう。ヨハネによる福音書 16:25

イエスは二度目に彼に言われた。「ヨナの子シモンよ、あなたはわたしを愛しているか。」彼は答えた。「はい、主よ。あなたはわたしがあなたを愛していることをご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を養いなさい。」イエスは三度目に彼に言われた。「ヨナの子シモンよ、あなたはわたしを愛しているか。」ペトロは、イエスが三度目に「あなたはわたしを愛しているか」と言われたので悲しんだ。そして彼はイエスに言った。「主よ、あなたはすべてをご存じです。あなたはわたしがあなたを愛していることをご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を養いなさい。」ヨハネによる福音書 21:16-17

そこで彼らが集まったとき、イエスに尋ねて言った。「主よ、あなたは今この時にイスラエルに王国を回復してくださるのですか。」イエスは彼らに言われた。「父がご自身の権威によって定めておられる時や時期を知ることは、あなたがたの知るところではない。」使徒行伝 1:6-7

それゆえ、悔い改めて立ち返りなさい。そうすれば、主の御前から慰めの時が来るとき、あなたがたの罪は消し去られるでしょう。そして、主はあなたがたに以前宣べ伝えられたイエス･キリストを遣わされるでしょう。天は、万物が回復される時まで、この方を受け入れていなければなりません。この回復の時は、神が世の初めからすべての聖なる預言者の口を通して語ってこられたものです。（使徒行伝 3:19-21）

しかし、神がアブラハムに誓われた約束の時が近づくと、エジプトの民は増え、数を増やした。（使徒行伝 7:17）

すると、その声は二度目に彼に語りかけた。「神が清めたものを、汚れたものと呼んではならない。」使徒行伝 10:15

こうして彼らは長い間、主にあって大胆に語り続け、主は恵みの言葉を証しし、彼らの手を通してしるしと不思議な業を行わせた。（使徒行伝 14:3）

神は、すべての民族を一人の人から造り、地の全面に住まわせ、あらかじめ定められた時と、彼らの住む場所の境界を定めた。神は、この無知の時代を大目に見られたが、今は、どこにいてもすべての人に悔い改めるように命じておられる。（使徒行伝 17:26,30）

そして、しばらくそこに滞在した後、イエスは出発し、ガラテヤとフリギアの地方を順に巡り、弟子たち全員を励ました。（使徒行伝 18:23）

彼が義と節制と来るべき裁きについて論じると、フェリックスは震え上がり、「今は行きなさい。都合の良い時が来たら、またあなたを呼びます」と答えた。（使徒行伝 24:25）

書簡

私たちがまだ弱かった時、キリストは定められた時に、不敬虔な者のために死んでくださったのです。（ローマ 5:6）

今の苦しみは、やがて私たちに現される栄光に比べれば、取るに足りないものだと私は思う。（ローマ人への手紙 8:18）

それでもなお、今の時代にも、恵みによる選びによって残された者たちがいるのです。（ローマ 11:5）

そして、時を知っている以上、今こそ眠りから覚めるべき時です。なぜなら、私たちの救いは、私たちが信じた時よりも今の方がずっと近いからです。（ローマ 13:11）

だから、主が来られる時まで、何事も時期尚早に判断してはならない。主は闇の中に隠されたことを明らかにし、心の思いをも明らかにされる。その時、すべての人は神から称賛を受けるであろう。（コリント人への手紙第一 4:5）

（なぜなら、神はこう言われるからです。「わたしは恵みの時にあなたの願いを聞き、救いの日にあなたを助けた。」見ょ、今こそ恵みの時、今こそ救いの日である。）コリント人への手紙第二 6:2

しかし、平等によって、今この時、あなたがたの豊かさが彼らの不足を補い、彼らの豊かさもまたあなたがたの不足を補うように、平等が保たれるようにするのです。（コリント第二 8:14）

さて、私はこう言います。相続人は、たとえ万物の主であっても、幼い間は召使いと何ら変わりません。父が定めた時までは、後見人や管理人の下に置かれるのです。
同じように、私たちも幼子であった時は、世の様々な要素の下に縛られていました。しかし、時が満ちると、神は御子を遣わされました。御子は女から生まれ、律法の下に置かれ

ました。それは、律法の下にある者たちを贖い出し、私たちが子としての身分を受けるためでした。（ガラテヤ 4:1-5）

それは、満ちる時の摂理において、天にあるものも地にあるものも、すべてをキリストにおいて一つに集めるためである。エペソ 1:10

時を有効に用いなさい。なぜなら、今は悪い時代だからである。（エペソ 5:16）

外にいる人々に対しては、知恵をもって歩み、時を有効に用いなさい。（コロサイ 4:5）

御霊ははっきりと告げておられる。終わりの時には、ある人々は信仰から離れ、惑わす霊と悪霊の教えに耳を傾けるようになるであろう。（テモテへの手紙第一 4:1）

また、このことを知っておきなさい。終わりの日には、困難な時代が来るでしょう。（テモテへの手紙第二 3:1）

そこで、私は神と、その現れと御国において生者と死者を裁かれる主イエス･キリストの前で、あなたに命じます。御言葉を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、熱心に励みなさい。あらゆる忍耐と教えをもって、戒め、叱責し、励ましなさい。なぜなら、人々が健全な教えに耐えられなくなる時が来るからです。彼らは自分の欲望に従って、耳をくすぐるようなことを言う教師たちを自分たちのために集め、真理から耳をそむけ、作り話に耳を傾けるようになるでしょう。（テモテへの手紙第二 4:1-4）

しかし、神は時が来れば、私たちの救い主である神の命令によって私に委ねられた宣教を通して、御言葉を明らかにされました。（テトス 1:3）

神は昔、預言者たちを通して、さまざまな時、さまざまな方法で先祖たちに語られた。（ヘブライ人への手紙 1:1）

ですから、私たちは聞いたことをますます真剣に心に留め、決して忘れてしまわないようにしなければなりません。（ヘブライ人への手紙 2:1）

また、彼はダビデを通して「今日、長い時を経て」とある特定の日を定めて言われました。それは、「今日、もしあなたがたが彼の声を聞くならば、心を頑なにしてはならない」とあるとおりです。（ヘブライ人への手紙 4:7）

ですから、私たちは大胆に恵みの座に近づきましょう。そうすれば、あわれみを受け、必要な時に助けとなる恵みを見いだすことができるのです。（ヘブライ人への手紙 4:16）

あなたがたは明日のことを知らない。あなたがたの命とは何であろうか。それは霧のようなもので、しばらく現れては消えてしまう。（ヤコブ 4:14）

私たちの主イエス･キリストの父なる神をほめたたえよ。神は、その豊かな憐れみによって、イエス･キリストの死者からの復活を通して、私たちを生き生きとした希望へと再び生み出してくださった。それは、朽ちることなく、汚れることもなく、衰えることもない相続財

産であり、天に蓄えられている。あなたがたは、終わりの時に現される救いを得るために、信仰によって神の力に守られているのである。ペトロの手紙一 1:3-5

あなたがたは、先祖から受け継いだ空しい生き方から、銀や金のような朽ちるもので贖われたのではなく、傷も汚れもない小羊のようなキリストの尊い血によって贖われたことを知っているからです。キリストは、まことに世の初めから定められていましたが、あなたがたのためにこの終わりの時に現れました。あなたがたは、キリストによって、キリストを死者の中からよみがえらせ、栄光を与えられた神を信じるのです。それは、あなたがたの信仰と希望が神にあるためです。（ペテロの手紙第一 1:18-21）

しかし、あなたがたは選ばれた民、王なる祭司、聖なる国民、神の所有となる民です。それは、あなたがたを闇の中からご自身の驚くべき光の中へと招いてくださった方の栄光を宣べ伝えるためです。あなたがたは以前は民ではなかったが、今は神の民であり、以前は憐れみを受けていなかったが、今は憐れみを受けているのです。（ペトロの手紙一 2:9-10）

あなた方の装いは、髪を編んだり、金の装飾品を身につけたり、着飾ったりといった外面的なものであってはなりません。むしろ、朽ちることのない、柔和で静かな心の内なる人、すなわち、神の御前で非常に尊い飾りであるべきです。昔、神を信頼していた聖なる女たちも、このようにして、夫に従順であり、身を飾っていました。サラがアブラハムに従い、彼を主と呼んだようにです。あなた方も、善を行い、何事にも驚かない限り、サラの娘なのです。（ペテロの手紙第一 3:3-6）

ですから、キリストが私たちのために肉体において苦しみを受けられたのですから、あなた方も同じように心構えをしなさい。肉体において苦しみを受けた者は罪から解放されているからです。それは、残りの人生を人間の欲望に従って生きるのではなく、神の御心に従って生きるためです。私たちがかつて生きた人生は、異邦人の意志に従って、淫らな行い、情欲、酒の飲み過ぎ、宴会、宴会、そして忌まわしい偶像崇拝にふけっていたため、もはや十分ではないかもしれません。（ペテロの手紙第一 4:1-3）

裁きは神の家から始まる時が来た。もしそれがまず私たちから始まるなら、神の福音に従わない者たちの最後はどうなるだろうか。（ペテロの手紙第一 4:17）

ですから、神の力強い御手の下にへりくだりなさい。そうすれば、神は時が来ればあなた方を高めてくださいます。あなたがたのすべての思い煩いを神にゆだねなさい。神はあなたがたのことを心にかけてくださるからです。（ペテロの手紙第一 5:6-7）

子どもたちよ、今は終わりの時です。反キリストが来るという話は聞いていましたが、今や多くの反キリストが現れています。それによって、私たちは終わりの時だとわかるのです。（ヨハネの手紙一 2:18）

終わりの時には、自分の不敬虔な欲望に従って歩む嘲る者たちが現れると、彼らはあなた方に告げたではないか。（ユダ 1:18）

啓示

この預言の言葉を読み、また聞き、そこに書かれていることを守る者は幸いである。時が近づいているからである。（ヨハネの黙示録 1:3）

そして、永遠に生きる方、天とその中にあるもの、地とその中にあるもの、海とその中にあるものを創造された方にかけて誓った。もはや時はない。（ヨハネの黙示録 10:6）

それゆえ、天よ、そして天に住む者たちよ、喜びなさい。地と海に住む者たちには災いあれ。悪魔が激しい怒りを抱いてあなたがたのところに下って来たからだ。彼は自分の時が短いことを知っているからである。（ヨハネの黙示録 12:12）

また、別の天使が神殿から出てきて、雲の上に座っている方に大声で叫んだ。「鎌を振り下ろして刈り取りなさい。刈り取る時が来た。地の収穫は熟したからだ。」 ヨハネの黙示録 14:15

そして彼は私に言った、「この書の預言の言葉を封じてはならない。時が近づいているからだ。」 ヨハネの黙示録 22:10

外典

そして、主なる私たちの神の家で、私たちに光を与え、私たちが苦役の時に食物を与えてくださるように。（エズラ記 8:79）

そしてまた時が経つにつれ、あなたは再び洪水をこの世に住む者たちの上にもたらし、彼らを滅ぼした。（第二エズラ書 3:9）

そして、義人に約束されている未来の事柄を理解することはできない。この世は不義と弱さに満ちているからである。アダムの心には初めから悪の種が蒔かれており、今日までどれほどの不敬虔を生み出してきたことか。脱穀の時までに、どれほどの不敬虔を生み出すであろうか。（第二エズラ書 4:27,30）

あなた方には楽園が開かれ、命の木が植えられ、来るべき時が備えられ、豊かさが用意され、都が築かれ、安息が与えられ、まことに、完全な善と知恵が与えられる。 第二エズラ書 8:52

すると彼は私に答えて言った、「時を注意深く測りなさい。そして、私が先に告げたしるしの一部が過ぎ去ったのを見たら、至高者が自ら創造した世界を訪れ始めるまさにその時が来たのだと悟るであろう。」 第二エズラ書 9:1-2

すると彼は私に答えて言った。「畑がそうであるように、種もそうである。花がそうであるように、花の色もそうである。職人がそうであるように、仕事もそうである。農夫がそうであるように、農作業もそうである。それは世の時代であった。」 第二エズラ書 9:17

いと高き方はまた、高慢な時代をご覧になった。見よ、それは終わり、その忌まわしい行いは成就した。（第二エズラ書 11:44）

そして彼は私に言った、「あなたが海の深淵にあるものを探り当てたり、知ることができないように、地上の誰も、昼間以外には、私の息子や彼と共にいる者たちを見ることはできない。」第二エズラ書 13:52

そして、彼は正義の裁き主であるゆえに、あなたに与えたものを、時が来ればあなたから取り去ったのである。（第二エズラ書 14:32）

わが子よ、メディアに行きなさい。預言者ヨナがニネベについて語ったこと、すなわちニネベが滅ぼされ、メディアにはしばらくの間平和が訪れ、私たちの兄弟たちはその良き地から地に散らされるであろうことを、私は確かに信じている。エルサレムは荒廃し、そこにある神の家は焼かれ、しばらくの間荒廃するであろう。しかし、神は再び彼らを憐れみ、彼らを再びその地に導き入れ、彼らは神殿を建てるであろう。しかし、それは最初の神殿とは異なるものであり、その時代の時が満ちるまで続くであろう。その後、彼らは捕囚の地から戻り、エルサレムを栄光のうちに再建し、神の家は預言者たちが語ったとおり、栄光に満ちた建物として永遠にそこに建てられるであろう。トビト記 14:4-5

今こそ、あなたの相続地を守り、私たちに立ち向かう敵を滅ぼすためのあなたの企てを実行する時である。その後、皆それぞれ自分の相続地に戻り、ユディトはベトゥリアへ行き、自分の領地に留まり、その時代、国中で尊敬を集めた。ユディトの時代には、イスラエルの子らをこれ以上恐れさせる者はなく、彼女の死後も長い間、誰も恐れることはなかった。（ユディト記 13:5,21,25）

あなたにとって、どんないけにえも香ばしい香りには足りず、どんな脂肪もあなたの燔祭には十分ではない。しかし、主を畏れる者は常に偉大である。（ユディト記 16:16）

主よ、覚えていてください。苦難の時に、ご自身を現してください。諸国の王、全能の主よ、私に勇気を与えてください。エステル記 14 章 12 節への追記

そして、私の母の胎内で、十ヶ月の間に、血と人の種と眠りに伴う喜びによって、肉体として形作られた。ソロモンの知恵 7:2

人が多くの経験を望むなら、彼女は昔のことを知り、これから起こることを正しく推測する。彼女は言葉の微妙なニュアンスを知り、難解な文章を解き明かすことができる。彼女はしるしと不思議、季節と時の出来事を予見する。ソロモンの知恵 8:8

あなたの御座に座る知恵を私に与えてください。そして、あなたの子供たちの中から私を退けないでください。私はあなたのしもべであり、あなたの女奴隷の子です。私は弱く、若く、判断と律法を理解するには幼すぎます。たとえ人が人の中で最も完璧な者であっても、あなたの知恵が彼と共になければ、彼は何の役にも立たないでしょう。ソロモンの知恵 9:4-6

あなたは望むときにはいつでもその偉大な力を示すことができる。誰があなたの腕の力に抵抗できようか。ソロモンの知恵 11:21

昔も、傲慢な巨人たちが滅びた時、あなたの御手によって統治される世界の希望は、か弱い器に宿り、あらゆる時代に子孫の種を残した。ソロモンの知恵 14:6

主よ、あなたはあらゆることにおいて、あなたの民を偉大にし、栄光を与え、彼らを軽んじることなく、あらゆる時、あらゆる場所で彼らを助けられました。ソロモンの知恵 19:22

彼はしばらくの間、その言葉を隠されるだろう。そして多くの人々の唇が彼の知恵を告げ知らせるだろう。（シラ書 1:24）

心を正し、常に耐え忍び、苦難の時にも慌ててはならない。シラ書 2:2

主は憐れみと慈しみに満ち、忍耐強く、非常に慈悲深く、罪を赦し、苦難の時に救われる。シラ書 2:11

裁こうとしてはならない。あなたは不正を取り除くことができないのだから。さもないと、いつか権力者を恐れることになり、あなたの正義の道においてつまずきの石となるであろう。シラ書 7:6

地の力は主の御手の中にあり、主は時が来れば、地の上に益となる者を立てられる。シラ書 10:4

仕事に携わる際は、過度に賢くなってはならない。苦難の時に自慢してはならない。（シラ書 10:26）

主の御業は初めから裁きをもって行われ、主はそれらを造られた時からその各部分を定められた。シラ書 16:26

主は人を地から創造し、再び地に戻された。主は人にわずかな日と短い期間と、地にあるものに対する支配権をお与えになった。（シラ書 17:1-2）

病む前に謙遜になり、罪を犯した時には悔い改めを示せ。誓いを期日までに果たすことを何にも妨げられてはならない。義と認められることを死ぬまで延期してはならない。祈る前に身支度を整えよ。主を試す者のようになってはならない。終わりの時の怒りと、主が顔を背ける復讐の時を思い巡らせ。満ち足りている時も飢えの時を思い起こせ。富んでいる時も貧しさと困窮を思い巡らせ。朝から晩まで時は変わり、主の御前ではすべてのことが速やかに行われる。賢い人はすべてのことを恐れ、罪を犯す日にはつまずきを警戒する。しかし愚か者は時を守らない。シラ書 18:21-27

他人に告げられたことを言いふらしてはならない。そうすれば、あなたは決して悪い目に遭わないだろう。友であろうと敵であろうと、他人の人生について語ってはならない。もし、他人を傷つけずに話せるなら、それを明かしてはならない。彼はあなたのことを聞き、観察していた。そして時が来れば、彼はあなたを憎むだろう。シラ書 19:7-9

悪を知ることは知恵ではなく、罪人の助言は決して賢明ではない。シラ書 19:22

ある者は答える必要がないので口をつぐみ、ある者は時機を知って沈黙を守る。賢者は好機が訪れるまで口をつぐむが、おしゃべりな者や愚か者は時機を顧みない。シラ書 20:6-7

時宜を得ない物語は、喪に服す時の音楽のようなものだ。しかし、鞭打ちと知恵による懲らしめは、決して時宜を得ないことはない。（シラ書 22:6）

建物の中でしっかりと組み合わされた木材は、揺れても緩むことがない。同様に、助言によって堅固にされた心は、決して恐れることはない。シラ書 22:16

貧しい隣人に忠実であれ。そうすれば、彼の繁栄を共に喜ぶことができる。苦難の時にも彼に寄り添い続けよ。そうすれば、彼と共に相続人となることができる。貧しい境遇を常に軽蔑すべきではないし、愚かな富裕者を賞賛すべきでもない。シラ書 22:23

彼は、新実りの時のフィソン川やティグリス川のように、万物をその知恵で満たす。彼は、収穫の時のユーフラテス川やヨルダン川のように、理解力を豊かにする。彼は、ぶどう酒の時のゲオンのように、知識の教えを光のように現す。シラ書 24:25-27

人が富める者であろうと貧しい者であろうと、主に対して善い心を持つならば、常に明るい顔で喜ぶであろう。シラ書 26:4

もしあなたが軽率な者の中にいるなら、時をわきまえなさい。しかし、常に理解力のある人々の間にいなさい。（シラ書 27:12）

隣人が困っている時に貸し、時が来たら隣人に返済しなさい。約束を守り、誠実に隣人と接すれば、あなたは常に必要なものを見つけるでしょう。多くの人は、物を貸されると、それが手に入ったと思い込み、助けとなるはずの苦労を隣人に負わせました。借りるまでは人の手に口づけし、隣人の金銭に対しては従順に話すでしょう。しかし、返済する時になると、返済を遅らせ、嘆きの言葉を返し、返済の遅さを嘆くでしょう。シラ書 29:2-5

嫉妬と怒りは寿命を縮め、用心深さは老いを早める。（シラ書 30:24）

音楽家のいるところで言葉を吐き出してはならない。時宜を得ない知恵を語ってはならない。（シラ書 32:4）

あなたが人生の終わりを迎え、命を終える時、あなたの遺産を分配しなさい。シラ書 33:23

苦難の時に慈悲が訪れるのは、干ばつの時に雨雲が降るように、時宜を得たことである。（シラ書 35:20）

時を短くし、契約を心に留め、あなたの驚くべき御業を彼らに告げ知らせよ。シラ書 36:8

友の繁栄を喜ぶ友もいるが、苦難の時には友に敵対する。（シラ書 37:4）

それゆえ、医者に場所を譲りなさい。主が彼を創造されたのだから。彼をあなたから離してはならない。あなたには彼が必要だからである。彼らの手によって大きな成功が得られる時がある。彼らはまた、主に向かって祈るであろう。彼らが安楽と延命のために与えるものが、主によって成功するようにと。シラ書 38:12-14

そして誰も、「これは何だ？ あれは何だ？」とは言わない。時が来れば、それらはすべて明らかにされるからである。彼の命令によって水は山のように積み上がり、彼の口から出る言葉によって水の容器は満たされた。シラ書 39:17

復讐のために創造された霊たちがいる。彼らは激しい怒りに駆られ、容赦なく攻撃を仕掛ける。滅びの時、彼らはその力を解き放ち、創造主の怒りを鎮める。シラ書 39:28

彼らは主の戒めを喜び、地上で必要が生じた時にはいつでも備えができているであろう。そして彼らの時が来た時には、主の言葉に背くことはないであろう。それゆえ、人は「これはあれより悪い」と言うことはできない。なぜなら、時が来れば彼らは皆、立証されるからである。（シラ書 39:31,34）

兄弟と助けは苦難の時に役立つが、施しはそれら両方よりも多くをもたらす。シラ書 40:24

彼はまた、月を創造し、季節ごとに時を告げ、世のしるしとして用いるようにした。（シラ書 43:6）

ノアは完全で正しい者と認められた。神の怒りの時に、彼は世界と引き換えに連れ去られた。それゆえ、洪水が来た時、彼は地上に残された者となった。（シラ書 44:17）

モーセの時代にも、彼とエフンネの子カレブは慈悲の業を行った。彼らは会衆に抵抗し、民を罪から遠ざけ、悪人の不平を鎮めたのである。シラ書 46:7

ソロモンは平和な時代に統治し、尊敬された。神が彼の周りのすべてを静かに保ち、彼が神の名によって家を建て、永遠の聖所を備えることができるようにしたからである。（シラ書 47:13）

ヨシヤの記憶は、薬師の技によって作られた香料の調合のようである。それはすべての人にとって蜜のように甘く、酒宴の音楽のように心地よい。彼は民の改宗において正しく行動し、不義の忌まわしい行いを取り除いた。彼は心を主に向け、不敬虔な時代に神への礼拝を確立した。シラ書 49:1-3

ゾロバベルをいかに称えようか。彼は右手に輝く印章のようであった。ヨゼデクの子イエスもまた、その時代に神殿を建て、主のために聖なる神殿を建てた。それは永遠の栄光のために備えられたものであった。（シラ書 49:11-12）

それゆえ、万物の神をほめたたえよ。至る所で奇跡を行う唯一の神、母の胎内から私たちの命を高め、その慈しみによって私たちを扱ってくださる神をほめたたえよ。どうか私たちに心の喜びを与え、イスラエルに永遠の平和がありますように。どうか神が私たちへの慈しみを確証し、御自身の時に私たちを救い出してくださいますように。シラ書 50:22-24

私は主、わが主の父に祈り求めました。苦難の日々、高慢な者たちの時代に、助けのない時に、私を見捨てないでほしいと。私は絶えず御名をほめたたえ、感謝をもって賛美の歌を歌います。すると私の祈りは聞き届けられました。あなたは私を滅びから救い、悪しき時代から救い出してくださいました。それゆえ、私は感謝し、あなたをほめたたえ、御名をほめたたえます、主よ。シラ書 51:10-12

仕事を早めに始めなさい。そうすれば、主は時が来ればあなたに報いを与えてくださる。（シラ書 51:30）

先祖の罪を思い起こすな。今この時、あなたの力と御名を思い起こせ。バルク書 3:5

マタティアの死期が近づいたとき、彼は息子たちに言った。「今や高慢と非難が勢いを増し、滅びの時と憤りの怒りが来た。だから、わが子らよ、律法に熱心になり、先祖の契約のために命を捧げなさい。先祖たちがその時代に行った行いを思い起こしなさい。そうすれば、大きな栄誉と永遠の名を受けるであろう。アブラハムは試練の中で忠実であることが認められ、それが彼に義とみなされたのではないか。ヨセフは苦難の時に戒めを守り、エジプトの王となった。」（マカバイ記第一 2:49-53）

それゆえ、苦難の時に自分の命を惜しむなど、私には到底考えられない。私は兄弟たちよりも優れた者ではないのだから。マカバイ記第一 13:5

その時、シモンは立ち上がり、自国のために戦い、多くの財産を費やして、勇敢な兵士たちを武装させ、彼らに報酬を与えた。彼の時代には、物事は彼の手によって繁栄し、異邦人はその国から追い出され、エルサレムのダビデの町にいた者たちもまた追い出された。彼らは塔を建て、そこから出て行き、聖所の周囲を汚し、聖所に多くの損害を与えた。マカバイ記第一 14:32,36

エルサレムとユダヤの地にいる兄弟たち、ユダヤ人たちは、エジプト全土にいる兄弟たち、ユダヤ人たちに健康と平和を祈ります。神があなた方に恵みを与え、忠実な僕であるアブラハム、イサク、ヤコブと結ばれた契約を覚えてくださいますように。あなた方すべてに、勇気と喜んで従う心をもって神に仕え、神の御心を行う心を与えてくださいますように。神の律法と戒めに心を開き、平和を送ってくださいますように。あなた方の祈りを聞き、あなた方と一つになり、苦難の時にも決してあなた方を見捨てませんように。 マカバイ記第二 1:1-5